



菊水郷

編集／発行

大阪府立富田林高等学校
(旧富中) 同窓会

〒584-0035
大阪府富田林市谷川町4番30号
TEL (0721) 23-2281 (代表)
FAX (0721) 23-2204
印刷 (株)サラト

東日本大震災で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、
一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

ひき続き、建設寄付金をよろしくお願ひします。
(関連記事P4)



※ 完成した同窓会館、
1階会議室の様子
2階バルコニーからは、金剛・かつら城山も望めます。

監修 (株)東畑建築事務所
笹村 欽也
設計 越井木材工業(株)
施工 (株)内本工務店



7月30日竣工式

平成23年度

同窓会総会ご案内

とき

平成23年10月2日(日) 午後3時30分より(受付午後3時開始)

○総会・講演 午後3:30~

講演 講師 中野 洋介 (高6期)

演題 お能の話ー世界無形遺産登録「能楽」についてー

○懇親会 午後5:00~

ところ

天王寺都ホテル 〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1-2-8(近鉄百貨店東隣)
TEL 06-6628-3200(代表)

○総会・講演 5F 当麻の間

○懇親会 6F 吉野の間

参加費

7,000円(ただし、平成23年3月卒業生は、2,000円)

※同封の払込用紙にて振り込みをお願いします。

講演者プロフィール

中野洋介(なかのようすけ)

昭和29年 富田林高校卒(高6期)
大阪大学法学部卒業後、40余年間、
関西電力(株)並びに関電興業(株)に勤務する。

平成4年に『観世流 能楽師 師範』の認定を受ける。

現在、『河村青嵐会』の同門として、主に京都で能楽活動を行っている。



富高の更なる発展を期して

同窓会長 越井 健

懸案の同窓会館の完成がいよいよ近づいて参りました。同窓の皆様には色々な面でご協力頂き、深謝して居ります。前校長の大木先生がログハウスの同窓会館が欲しいと強い熱意を示され、私も100周年に続いて110周年の事業としては少し

んどいかなとは思いましたが、思い切って役員の皆様にご相談してみました。幸い皆様に賛同して頂き、今日迄来た訳です。完成の暁には同窓卒業生が使うのみならず、現役の生徒諸君が補習に使う事を期待しています。ご承知の如く、木材からは空気を浄化する成分が出て居り、この中で勉強すれば成績が上がる事は色々な間で云われています。

我が富田林高等学校が南河内のみならず全大阪の中で実績を上げて行く事を願っております。



新同窓会館を富高文化の発信源に

校長 易 寿也

富田林高校の校長に赴任して、あっという間に三か月が過ぎようとしています。この間、越井会長をはじめ同窓会幹部の皆様ともお顔見知りになりました。それぞれに社会的に活躍されている(現役を引退された方が多いのですが)方々が、遙かに年齢の離れた後輩たちのために同窓会館を建てようという目標を掲げて、侃々諤々と頭を突き合わせて話し合われている姿を見て、富高の生徒は本当に恵まれているなど感じ入りました。校長として地域の様々な会議に出席すると、富高出身の方が

多く、それぞれにあのころを懐かしみ、今も変わらぬ愛校心を語られる。「南河に富高あり」とはよく言ったものです。新しい同窓会館を、生徒たちにとっての“学びの聖地”にしたいものです。先輩たちの思いを受け止めながら、講習に、自習に励んでもらう。それと同時に、同窓生の絵画作品の個展会場であったり、「公開講座」を広く市民対象に開くのも楽しいと思います。ログハウスに足を踏み入れて部屋いっぱい漂う木の香りに包まれると、そんなことが次々と頭の中に浮かんできます。本校同窓生の岸本忠三千里ライフサイエンス振興財団理事長が「大切なのは、誰もやっていないことをやること」とその進取の気風を端的に語られていますが、この同窓会館が、富高生の「気力」の源になることを期待しています。ありがとうございました。

同窓会館新築工事

同窓会館の新築工事は、今年2/25に起工式を行いました。

まず、植栽の撤去や移植を行ったり、記念碑や庭石の移設を行いました。

次に、3月上旬より掘削、鉄筋、基礎コンクリート打ちなどを行い、3月末に基礎工事が完了しました。

4月上旬よりログハウスの組み立てが開始し、5月上旬に完了した。以後、屋根・内装・設備などの各工事が行われました。6/23に消防検査、6/24に大阪府の工事完了検査があり、いずれも合格しました。

監修 ㈱東畑建築事務所
笹村 欽也

設計 越井木材工業㈱

施工 ㈱内本工務店

その他関係会社

杉岡建設工業㈱

㈱田口建設工業

㈱石駒

ダイワ緑地㈱

ログハウスの特徴について

ログハウスは、丸太を使った建築物で、一般に水平方向に井桁のように組み合わせて建てた建物です。

湿度の調整がとても優れており、また木の断熱性の高さから、夏は涼しく、冬は温かい。

コンクリートなどに比べて感触がよく、木の温もりを感じることが出来る。

また、耐震性・耐火性・耐久性も優れ、音響効果もあります。反面、ログハウスは坪単価が高くつきます。

それでは同窓会館の案内をします。

同窓会館の床面積は 1階 119.70㎡ (36.2坪)

2階 78.20㎡ (23.7坪) で、

延べ床面積は 197.90㎡ (59.9坪) です。

1階はホール、湯沸室、男・女便所がありますが、大部分が会議室です。

会議室は約80㎡ (24坪) で、イス席で50人収容できます。

会議室は2つに区切って使用することも可能です。

また、CPU対応の会議室仕様(音響設備・映写設備など)を検討中です。

2階は事務室(会議室)として、約78㎡あります。屋根下になりますので、階高がとれないところもありますので、部屋として使用出来るのは、約66㎡ (20坪) です。

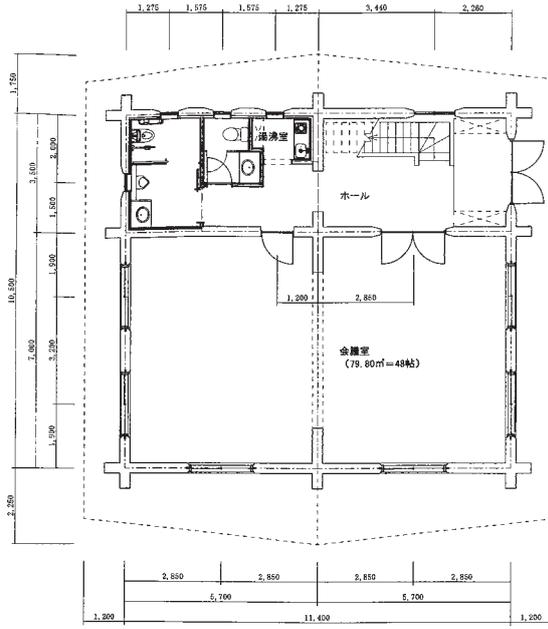
また2階は、1階会議室と吹抜になってつながっていますので、声などが聞こえてくる可能性もあります。

部屋の使用には制限があるかと思われませんが、2階は山小屋風で、窓からの見はらしもよく、特に、バルコニーから金剛山・葛城山の眺望もよいので、談話室・会議室に向いています。

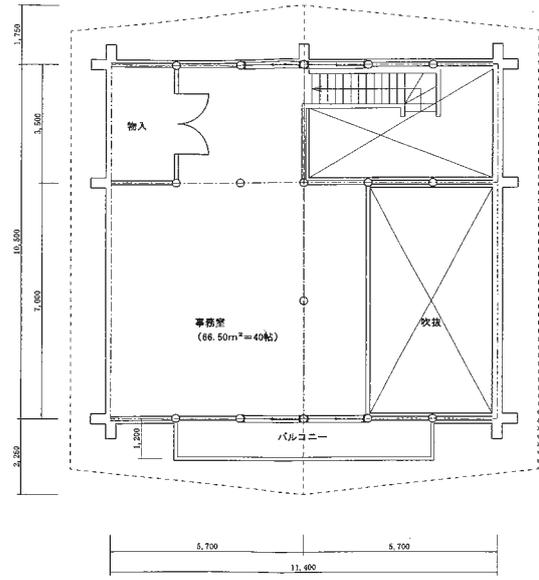
同窓会館は木の温もり・木の香り・心を癒してくれるログハウスです。会議・懇親会や教育活動にフルに使っていただきたい。

なお、公立高校なので、校内の飲酒・喫煙は出来ないことになっております。

同窓会館の使用について 同窓会館の使用に関しては次号に掲載予定ですが、それまでは10月以降にホームページにてご案内させていただきます。



1階 平面図



2階 平面図



東 立面図

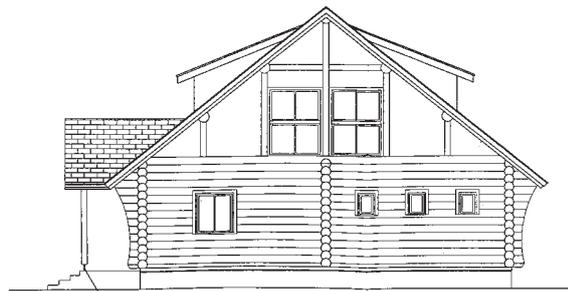


南 立面図

柱脚金物



西 立面図



北 立面図

柱脚金物



同窓会館建設寄付 ご協力有難うございます。

同窓会館建設寄付金募集延長についてお願い！

東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

この大変な事態に、今後の日本がどう対処し、乗り越えていくか国民一人一人が真剣に考えて取り組んでいく必要があると思います。

この非常時に悠長なことを言うようですが、同窓会が学校、PTAの協力を受け、昨年秋から計画し、募金と並行して建設を進めておりました創立110周年記念事業の中心となる新しい同窓会館が、いよいよ竣工し完成いたしました。

皆様のご厚志をいただきやすくするために法人税と所得税で寄付金控除を適用してもらおう手続きに手間がかかり、寄付金募集の開始時期がかなり遅れたため、「菊水郷」の臨時号として昨年11月上旬に趣意書を発送して募金活動をスタートいたしました。ところが、その最中の本年3月11日に、関東・東北地方に致命的な災害をもたらしたマグニチュード9.0という過去に例を見ない大地震と大津波、そしてその後起こった福島原発の放射能事故と予想もしえない未曾有の事態に立ち至り、同窓会館建設募金の先行きを危惧せざるを得ないことになりました。

しかし、大阪府や国税局など多くのかたがたのご協力をいただき、既に取り掛かっています同窓会館の建設を途中で取りやめる訳にもいかず、計画どおりの完成にこぎつけた訳ですが、今回の建設費用は会員の皆様からのご厚志による寄付金を期待して実施したものです。

平成23年7月31日現在で約700件、4,000万円の寄付をいただいておりますが、2万人を超える歴史ある富田林高校同窓会会員の総力を結集して、皆で建てた同窓会館としたものと考えております。

残念ながら時期の関係もあったと思いますが、現状では目標額にまだ遠くおよびません。一人でも多くの会員の皆さんからのご協力に期待し、**多数の会員が力をあわせて完成させた会館**といたしたく、金額の多少にかかわらず再度寄付をお願いしています。

景気の回復も思った以上に思わしくなく、その上、震災の復興に精力を注がねばならない大変な時期とは思いますが、**全同窓生挙げての事業**として取り組むべく、多くの皆様のより一層のご協力を宜しくお願いいたします。

ひき続きよろしく申し上げます。

平成22年度会計決算書

収入の部				
費目	予算額	決算額	差引額	備考
会費収入	4,256,000	4,501,000	245,000	
臨時会費	2,006,000	1,984,000	△22,000	@2,000円
臨時会費	450,000	378,000	△72,000	
賛助会費	1,800,000	2,139,000	339,000	
預金利息	20,000	6,455	△13,545	
雑収入	994,000	3,172,863	2,178,863	
会報広告料	400,000	425,000	25,000	
雑収入		25,000	25,000	H23年度広告料預かり金
繰越金取崩	594,000	2,705,363	2,111,363	名簿代
合計	5,270,000	7,680,318	2,410,318	

支出の部				
費目	予算額	決算額	差引額	備考
事業費	4,100,000	3,773,608	△326,392	
クラブ援助費	250,000	250,000	0	
菊水郷発行費	3,500,000	3,208,808	△291,192	
会員活動費	50,000	20,000	△30,000	
学校案内補助	300,000	294,800	△5,200	
会議費	770,000	681,705	△88,295	
総会費	750,000	628,635	△121,365	
会議費	20,000	53,070	33,070	
事務費	60,000	29,690	△30,310	
消耗品費	20,000	850	△19,150	
印刷費	10,000	0	△10,000	
通信費	30,000	28,840	△1,160	
人件費	50,000	0	△50,000	
諸経費	190,000	147,315	△42,685	
慶弔弉別費	30,000	48,640	18,640	
支払手数料	70,000	79,115	9,115	
諸雑費	30,000	0	△30,000	
HP更新費	60,000	19,560	△40,440	
予備費	100,000	48,000	△52,000	110周年懸垂幕
貸付金		3,000,000	3,000,000	110周年貸付金
合計	5,270,000	7,680,318	2,410,318	

収支まとめ		費目	内容	金額
費目	決算額	出資金		18,000
前年度繰越金	13,355,999	不動産	山林 名義人 同窓会会長 (-) 南河内郡河南町大字平928番地14 5,454㎡ (-) 同上 928番地16 4,462㎡	5,454㎡ 4,462㎡
今期収入	4,974,955	その他資産	貸付金 3,000,000 創立110周年記念事業実行委員会 預け金 3,000 欄サラト賛助金コンビニ振り込み	
今期支出	7,680,318			
次年度繰越額	10,650,636			

平成23年度会計予算書

収入の部				
費目		23年度予算額	22年度予算額	備考
会費収入		4,322,000	4,168,000	
臨時会費		2,072,000	2,006,000	@2,000円 H23年度1,036名
臨時会費		450,000	450,000	
賛助会費		1,800,000	1,800,000	
預金利息		3,000	20,000	
雑収入		905,000	994,000	
会報広告料		400,000	400,000	
繰越金取崩		505,000	594,000	
合計		5,230,000	5,270,000	

支出の部				
費目		23年度予算額	22年度予算額	備考
事業費		4,100,000	4,100,000	
クラブ援助費		250,000	250,000	
菊水郷発行費		3,500,000	3,500,000	
会員活動費		50,000	50,000	
学校案内補助		300,000	300,000	
会議費		730,000	770,000	
総会費		700,000	750,000	
会議費		30,000	20,000	
事務費		50,000	60,000	
消耗品費		10,000	20,000	
印刷費		10,000	10,000	
通信費		30,000	30,000	
人件費		50,000	50,000	
諸経費		200,000	190,000	
慶弔弉別費		30,000	30,000	
支払手数料		80,000	70,000	
諸雑費		30,000	30,000	
HP更新費		60,000	60,000	
予備費		100,000	100,000	
合計		5,230,000	5,270,000	

収支まとめ		費目	内容	金額
費目	予算額	出資金		18,000
前年度繰越金	10,650,636	不動産	山林 名義人 同窓会会長 (-) 南河内郡河南町大字平928番地14 5,454㎡ (-) 同上 928番地16 4,462㎡	5,454㎡ 4,462㎡
今期収入	4,725,000			
今期支出	5,230,000			
次年度繰越額	10,145,636			

平成22年度特別会計決算書

収入の部				
費目	予算額	決算額	差引額	備考
利子収入	30,000	29,234	△766	
雑収入	1,825,000	1,582,339	△242,661	
合計	1,855,000	1,611,573	△243,427	

支出の部				
費目	予算額	決算額	差引額	備考
事業費	1,855,000	1,611,573	△243,427	
語学研修補助	450,000	268,557	△181,443	オーストラリア語学研修付き添い旅費
土曜セミナー補助	500,000	214,080	△285,920	土曜セミナー指導者謝礼・参考書購入
国際交流支援費	0	0	0	
学向上実践研究校支援	900,000	1,037,905	137,905	進学マネジメント委託費、人生達人講座費、予備校講師による授業、外部講演参加費等
通信費	2,000	0	△2,000	
手数料	3,000	2,130	△870	
その他	0	88,901	88,901	学校林枝打ち作業
合計	1,855,000	1,611,573	△243,427	

収支まとめ	
費目	予算額
前年度繰越金	22,737,362
今期収入	29,234
今期支出	1,611,573
次年度繰越額	21,155,023

平成23年度特別会計予算書

収入の部				
費目		23年度予算	22年度予算	備考
利子収入	貯金利息	6,000	30,000	
雑収入	取り崩し金	18,699,000	1,825,000	
合計		18,705,000	1,855,000	

支出の部				
費目		23年度予算	22年度予算	備考
事業費		1,705,000	1,855,000	
語学研修補助		450,000	450,000	オーストラリア語学研修付き添い旅費
土曜セミナー補助		250,000	500,000	土曜セミナー指導者謝礼・参考書購入
国際交流支援費		200,000	0	
学向上実践研究校支援		800,000	900,000	進学マネジメント委託費、人生達人講座費、予備校講師による授業、外部講演参加費等
通信費		2,000	2,000	
手数料		3,000	3,000	
貸付金		17,000,000		110周年貸付金
合計		18,705,000	1,855,000	

収支まとめ	
費目	予算額
前年度繰越金	21,155,023
今期収入	6,000
今期支出	18,705,000
次年度繰越額	2,456,023

平成22年度事業報告書

年月日	事業
平成22年	
4月3日	入学式にお祝いのフラワースタンド贈呈
25日	会計監査 役員会(平成21年度事業報告・決算報告・平成22年度事業計画案・予算案作成・菊水郷企画・総会準備)
5月23日	役員会(常任幹事会打ち合わせ等)
6月5日	役員会(常任幹事会打ち合わせ等) 菊水郷第1回編集会議 常任幹事会(平成21年度事業報告・決算報告・会計監査報告・平成22年度事業計画・予算案他審議)
7月1日、10日	役員会(同窓会館建設・募金活動について)
12日	創立110周年記念事業についての打ち合わせ
6、7、8月	菊水郷編集会議を教回開く
8月7日	役員会(同窓会館建設・募金活動について)
22日	役員会(菊水郷発行について)
27日、29日	役員会(同窓会館建設・募金活動について)
9月26日	役員会(同窓会館建設・募金活動について)
10月1日	菊水郷発行
27日	役員会(総会打ち合わせ等)
28日	同窓会館建設募金税控除確定

年月日	事業
31日	創立110周年記念事業についての打ち合わせ 同窓会総会 総会:平成21年度事業報告・決算報告・会計監査報告・平成22年度事業計画・予算報告 講演会:土屋良雄(全9期)「薩摩切り子」
11月1日	「菊水郷」臨時号発行 同窓会館建設募金活動開始
16日	大阪府と打ち合わせ(学校林枝打ち作業について)
19日	役員会(学校林枝打ち作業、募金活動について)
12月9日	河南町役場と打ち合わせ(学校林枝打ち作業について)
18日	学校林枝打ち作業 (現役野球部生徒、教員多数参加、大阪府、河南町協力)
平成23年	
2月5、13、19日	役員会(同窓会館建設・募金活動について)・建設委員会
20日	役員会(募金活動について)・臨時常任幹事会
25日	同窓会館起工式
26日	建設委員会
28日	新卒業生同窓会入会式
3月1日	卒業式にお祝いのフラワースタンド贈呈
27日	役員会(同窓会館建設・募金活動について)

平成23年度事業計画

1 各種会合	役員会	4月25日	6月4日	6月26日	7月17日
		8月27日	10月2日	11月26日	
		平成24年2月11日 3月24日			
	教育基金委員会	5月7日			
	会計監査会	6月4日			
	常任幹事会	6月26日			
	総会	10月2日			
	菊水郷編集会議	随時			
2 同窓会館起工式					
3 総会	10月2日 (於:天王寺都ホテル)				
4 創立110周年式典出席	10月22日 (於:ラプリーホール河内長野)				
5 創立110周年記念事業募金活動	(同窓会館建設費)				
6 菊水郷発行	8月末				
7 賛助会費募金活動					
8 同窓会員の活動援助					
9 教育基金の運営					
10 学校案内(来校者、校区中学校配布用)の作成補助					
11 クラブ活動の援助					
12 入学式にお祝いのフラワースタンド贈呈	(平成23年4月2日)				
13 新卒業生同窓会入会式	(平成24年2月27日)				
14 卒業式にお祝いのフラワースタンド贈呈	(平成24年2月28日)				
15 学校林視察					
16 ホームページ更新					
17 その他本会の目的に関する事項					

賛助会費芳名録

会員の皆様には、平素より同窓会母校発展にご尽力いただき感謝いたしております。皆様のご厚意でいただいております賛助会費は、同窓会活動や母校支援の大切な原資であり、母校と皆様を繋ぐ会報「菊水郷」充実の基であります。4年前から賛助会費を一口1,000円とし、幾口でもしていただけるようにいたしました。

今後ともお力添えをお願いいたします。なお、賛助会費を拠出していただきました方の菊水郷への記載につきましては、個人情報保護を配慮いたしまして、ご芳名と期のみとさせていただきます。ご了承くださいませようをお願いいたします。

平成22年8月10日から平成23年3月31日まで

旧職員 伊藤 裕康 磯部 正邦 岩田 行平 上柴 茂男 岡田 安隆 奥本 正彦 加藤 正馬 佐々木 禎彦 外山 四郎 仲谷 利光 灰原 清男 間田 文孝 浜谷 貞憲 細松 克三 松崎 正昭 吉田 勉治郎 渡辺 四郎 仲谷 繁夫 西本 龍一 梅井 雄一 池田 利雄 仲田 巖 西野 週造 花岡 重雄 山口 英信 奥本 茂男 土井 重元 平井 幸男 舟井 幸孝 竹村 高	林 忠彦 藤井 国夫 松川 啓一郎 森 由之 中36期 伊豆野 勝一 植條 久且 川邊 將治 高木 清勤 中37期 石香 亨 浦野 修一 多田 敬庸 中野 庸 中38期 浅岡 渡澄 小崎 清夫 大北 一治 岡田 正光 武田 悦男 中嶋 郁城 中39期 岡田 昌治 加瀬 胤孟 木下 守夫 北山 秀夫 楠本 宗保 小池 宗吾 高岸 哲夫 西野 七郎 松本 繁雄 中40期 秋元 貫成 植田 久治 新野 信之	日根 文男 福永 一雄 村上 義弘 村田 欽哉 森本 明敬 吉村 敬 中41期 大桑 修一 岡崎 欽隆 柴野 一宣 西嶋 威三 藤田 仁夫 船内 茂俊 古谷 重宏 星野 宏 中42期 合田 史郎 秦本 正一 松田 耕一 中43期 田中 富三 中戸 政治 橋本 彌壽男 畑田 昭雄 吉田 正幸 和田 昭三 中44期 石垣 幸雄 金銅 良幸 真銅 孝三 中林 唯司 西田 俊集 樋口 正	中45期 尾崎 薫 古元 秀明 南隆 併1期 老田 茂之 田所 直悟 丹下 臣 併2期 水郡 長一 高1期 中村 俊一 高2期 上田 一男 江住 和雄 尾鼻 勉夫 車谷 芳尚 斎藤 彰和 芝本 英生 土屋 二雄 畑中 達男 原藤 時由 藤 寛孝 安藤 幸子 麻乾 淑和 上堂 貞三 奥谷 諱義 田中 奎子 中谷 弘満 中村 シモ子 仲井 妙子 西浦 安之 花和 俊江	林 寿美 南口 昌勝 武藤 晃 山元 繁 横山 克己 高4期 岡田 彌 北野 恒雄 齋藤 郁博 田中 十郎 高内 満里子 樽谷 博光 中村 妙子 永田 治節 永葉 欣夫 真間 利夫 美宮 喜久子 柳田 明美 高5期 浅野 隆 井上 寛健 岡田 美津子 鞍谷 正春 黒野 千恵子 佐藤 英子 社領 文子 仙入 勝郎 中山 三千子 西久保 弘茂 伏井 壽彦	牧 恒夫 松田 淳次 松本 美明 萬谷 正子 三村 出正 宮崎 省三 安井 啓二 山田 睦彦 山本 栄美 高6期 青山 節子 荒井 好昭 岩崎 登美子 植田 茂博 浦太 次男 片田 雅子 北村 千昭 久保 多信 口野 頼子 小林 絹代 越井 健子 芝田 貞二 芝野 康文 社領 節廣 杉本 晃一 田中 正敏 瀧澤 千鶴 十土 井田 中谷 文雄	中 俊彦 谷松 洋介 戸野 村武 中水 郡士 西野 健弘 花島 アキ子 張樋 口八重 藤岡 徹次 船井 庄康 本松 井正 山松 幸隆 三森 繁志 山上 静喜 山 中 高7期 安藤 絢子 篠原 晴美 田中 啓男 堤名 迫行 原田 三隆 藤本 上博 柳野 具和 山本 晃舜 高8期 石田 幸壽 上堂 三八 関濱 昌弘 日達 和	松室 裕子 村田 芳文 田安 千直 森保 田フジノ 米田 フジノ 高9期 天岸 久子 石黒 艶志 乾榎 園剛 岡原 岩男 片岡 二郎 金谷 一彦 川崎 和哉 木村 佳志 児島 清義 清水 研一 嶋谷 本美 椿中 谷權 上梯 上雅 濱田 隆博 伏谷 勝源 藤井 原恵 藤道 旗妙 森田 善包 高10期 浅原 浩介 伊藤 恵子 岩井 孝子 植嶋 和子 漆原 真千穂 大橋 久子
--	---	---	--	---	--	--	--

 <h2>永和証券</h2> <p>本社：大阪市中央区今橋1丁目7-22 TEL 06 (6231) 9311</p> <p>羽曳野支店： 羽曳野市白鳥1丁目3-12 TEL 072 (957) 5951</p> <p>支店：東京・岸和田・阪南・生駒</p> <p>取締役会長 片山通夫 (高7期)</p>	<p>株式会社</p> <h1>カナヤ</h1> <p>代表取締役 金谷一彦 (高9期)</p> <p>〒584-0093 大阪府富田林市本町19-19 TEL 0721-25-5000(代)</p>	<h2>こんどう歯科医院</h2> <p>院長 金銅克典</p> <p>大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎17期生</p> <p>〒587-0002 堺市美原区黒山85-13 TEL 0723-61-1801</p> <p>(近鉄バス下黒山バス停前)</p> <p>広告依頼・金銅良幸(學)(中44期) 〒583-0841 羽曳野市駒ヶ谷74</p>
--	--	---

各期だより

各期だよりの原稿を**大募集!!**
ぜひ原稿と写真をお送り下さい!!

旧制中学
42・43
期

旧制中学42・43期同窓会報告

萬谷順一

平成23年5月10日、五月晴れの良き日一年半振りと同窓会を行いました。昨年アンケートをとって多かった富田林で開催、まず母校の見学、午前10時半校門内に集合、同窓会担当森口由紀子先生のご案内をうけ同窓会館で富高の現況を聞き、旧校舍時代の思い出として保存されている旧講堂正面の扉をバックに同級生写真家宮下春次君による記念撮影（30名）をすまし校内の見学、丁度この日はペナント競技大会の日で生徒達が元気に運動場や校庭までくり抜けて活動しているところを見学、エレベーターで校内一巡、バスにて瀧谷不動へ参拝し、門前屋において32名全員で記念写真をとって、鹿熊進君の司会で、房巖君のあいさつと前日から来阪した田中富三君の発声で乾杯し懇親会をにぎやかにいき、カラオケを歌い最後に校歌を斉唱してお開きいたしました。今回はみんなの参加意欲が強く車椅子ヘル



パー付きで娘さん運転で来た人や杖にすがりながら級友の迎え車で来たり万難を排しての参加もあって、前回、前々回よりも多くの出席をして頂き世話人として感激した次第です。また門前屋では中学36期の先輩達と同窓会を行われていて奇遇でした。わずかですがみんなで同窓会館建設資金に寄附をさせて頂きました。建設中のところを見ながら出来上がったならば是非ここで同窓会を開きたいと思いました。

高
5
期

高校5期同窓会報告

同窓会代表幹事 山本平八郎

去る平成23年6月27日（月）天王寺アポロ会館「楓林閣」において富高5期同窓会を開催致しました。



今回の開催は梅雨の季節という時期ではありませんでしたが、東は東京・横浜、西は広島から宿泊または新幹線でのとんぼ返りという行程での遠距離参加があり、今回も70名が集いました。

始めに、今日までの亡き同窓生ならびに大震災による犠牲者の御魂に黙祷を捧げ、厳粛に同窓会を開会致しました。

今回の同窓会は会場を学園広場とし、60年前へとタイムスリップして、少年少女に戻っての思い出話に大

いに花を咲かせて貰おうという企画でしたが、参加者みなさんのご協力で一応成功したと感謝致しております。しかし、今回の同窓会に参加できなかった友も多くあり、その大半が身体を悪くしておられるようで、今更ながら健康のありがたさを痛感した次第です。

参加者の中には、初めて参加したという友もあり、「本当に参加して良かった」と、久しぶりの友と互いに胸の名札と顔を確かめ合い懐かしがって居りました。

想えば私たちは、昭和の戦中・戦後の苦しい経済社会を経験し、また、教育も軍国主義から民主主義へと大きく変換した激動の世代でした。それぞれ波瀾万丈の77年の人生体験を持っており、こうして同窓会に参加できたことをみんなで心から喜び合いました。

みんなで4班に分かれての集合写真も撮りました。「舟木一夫」の学園歌をBGMとしての楽しい食事も撮りました。後期高齢者ながら明日に向けての元気なエネルギーも取りました。

閉会に当たって恒例の「富高校歌」に引き続き、今年は「高校三年生」と「星影のワルツ」を全員高らかに歌って、次回平成25年度開催を申し合わせて、名残を惜しみつつ別れました。

以上、富高5期同窓会開催報告と致します。

高
9
期

「富高110周年(同窓会館建設)を記念して」同窓会開催

浜健次郎

9期生は平成23年3月26日富田林市市民会館（レインボーホール）で以倉先生のご出席をいただき、2年ぶりに、そして久しぶりに地元で、金剛・葛城・二上山をながめて、77名の参加のもと盛大に開催しました。当日、開始は10時30分、

閉会は午後4時過ぎまでの約6時間でいろいろなことを行い親睦を深めました。

まず、九期展と命名し、ボードや壁面を利用して絵画・書・木彫・写真・手芸品(あみ物、レース)等15名の出展があり、又文筆活動で自作を出版する者3名の書名や内容を紹介して、それぞれ鑑賞しました。もう一つ、今回の特色は富高時代に流行った歌、学校時代に習った歌で皆でぜひ歌いたい歌詞を募り、校歌を含め38曲の歌集を作り、当日皆さんに配布して、岩本喜仁君がシンセサイザー

を持ち込み、彼の伴奏で皆で思う存分歌いました。詩吟もとびだし、講演はつい最近まで河内長野市の教育長を勤めていた福田弘行君に「演題のない講演」(勿論内容は教育に関することでしたが)をしてもらいました。

次回はできるだけ早く「新同窓会館で会おう、そして楽しもう」を決定し、校歌斉唱で終了しました。

富高9期生同窓会 富田林市民会館で!(H23.3.26)



高 20 期 **20期生同窓会の報告**
石崎英男

3月11日の午後、河内長野のコーヒー館で案内文発送のため最後の打ち合わせが終わった頃、東日本大震災の津波の映像が飛び込んできました。ただただ驚くばかりでした。(甚大な被害を受けられました方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を願っております。)

今年は、年明けから2度も雪が降り積もり、富高20期生の私達にとりましては、昭和40年春の大雪で入学試験が午後になった遠い昔が思い出されました。その私達も、はや還暦を過ぎ今年で61、62歳になりました。20期生は春雪会や、それぞれのクラブOB会等の仲間内で親交を温めてきましたが、久々に全体で集まり歓談しようと、今回の企画となりました。全体会としては、平成11年(1999年)5月に校舎建替前の旧講堂に百数十名が集まり、恩師もご招待し盛大に実施して以来になります。

5月28日(土)当日は午後2時から、難波のニューミュンヘン南大使館で、男性54名、女性41名が参加、恩師のご出

席は体育科の馬越先生でした。代表世話人の酒井さんの開会挨拶と乾杯の後、3年時の組別で自己紹介を行いました。還暦後1~2年、まだまだ現役・嘱託等で仕事の者、悠々自適の者。趣味、家族、健康、年金、老後のこと等々大いに歓談しました。

最後に、同窓会110周年記念事業への寄附をお願いし、三々五々難波の街に散って行きました。なお、今回の残金は110周年記念事業へ寄附させていただきました。

- 【常任幹事】 青木 仁 花岡栄子
 【代表世話人】 酒井達雄 山本洋子
 【世話人】 向井一雄 小松泰基 西野利幸 佐々木淑晴
 南出高治 石崎英男 中田恵子 辻真佐子
 増田由美子 藤原寿子 周藤恵津 仲堅文子



高 55 期 **第2回 同窓会**
同窓会幹事 熊谷直樹

2011年4月30日に開催させていただいた、55期生 約50名の同窓会について寄稿させていただきます。

初回は、2007年8月12日に約120名で開催でしたので、それから約4年ぶりの再会となりました。

久しぶりに再会した同級生は、パパになったり、ママになったり、東京に出ている人もいれば、大阪でがんばっている人もいて、あっという間に時間が流れたのだなあ感慨深く思われました。それでも、みんなそれぞれが持っている素晴らしい芯は、2003年の卒業から変わらず、それぞれが向かう方向へと日々魅力を伸ばしているように感じ、まぶしく、また、ほっとした気持ちにさせてもらえました。

26歳、27歳という、これから人生を謳歌してゆくまさにその時に、みんなと同じ時間を過ごせたことが、それぞれの胸に想い出として刻まれれば、幹事としてこれ以上の喜びはありません。

開催にあたり、献身的にサポートしてくれた、松田さん、真銅さん、いつもありがとうございます。この場をお借りしてお礼を述べさせていただきます。



最後に、次回の同窓会でひとりでも多くの皆さんとお会いできることを楽しみに、ご挨拶とさせていただきます。今後、それぞれの舞台上で活躍されることを心より願っております。

追伸

55期同窓会開催にあたり、事務連絡をスムーズに行うために、連絡先を管理させていただいております。

先生方を含め、今回の同窓会でまだ連絡先をいただけない方は、熊谷(naoki809@gmail.com)まで氏名、電話番号、メールアドレスをお送りいただくと、次回の連絡が取りやすくなりますので、ご協力いただければと思います。



再び「同窓会林」だより

高6期 荒井好昭

平成18年10月発行の「菊水郷」38号誌に「同窓会は山を持って」と題して拙文を掲載させて頂きました。その中で私達の同窓会は葛城山の山頂近く、ダイヤモンドトレール（二上山より葛城山・金剛山を経て和泉山脈に至る自然歩道）に一部隣接した場所に実測4.4ヘクタールの山林を所有していること。戦前の富中時代に教育の一環として校長先生を先頭に、全校あげて植林されたこと。戦後の教育制度改革により男女共学の富高に生まれ変わったため山林の経営が中断していたこと。その後山林所有者の佐藤省三氏より富高同窓会に寄贈を受け、それを契機に昭和36年大阪府と分収林契約を結び、植林・下刈・枝打・間伐等の維持管理を委託したこと。この契約の期間が50年間で平成23年に、この契約が完了すること。そして最後に契約完了後、同窓会林を維持して行くための問題点を皆様

に提起させて頂きました。

所が昨年7月南河内農と緑の総合事務所から「契約満了を迎えている学校林について、相談したいので、ご足労願いたい」との電話があり、7月7日に越井会長と私が同所へ出向きました。

結果、「富高の学校林は分収林契約の期間満了を迎える訳だが、実は平成10年の台風による風倒木や雪害による雪折れが生じたため、その年に植林し直した幼令林がかなり残っている。そのためこれらの木が成木となる時まで分収林契約を35年間延長してもよい。ただし大阪府まかせで、学校側が何もしないのも困ります。」との内容の話があり、かねてより越井会長も同窓会林には深い関心を示しており、戦前の様にはいなくても、何とか現役の生徒達に「山」の素晴らしさを味わわせてあげたいと常々口にしていましたので府の意向通り分収林契約の延長を結び、同窓会林の手入れに現役の生徒達が出向く計画が実現しました。

その年12月18日富高野球部の生徒達30名と、府の農林部の職員、同窓会林の手入れを実行してくれている森林組合の皆さん、同窓会林のある河南町の武田町長さん（実は町

長も本校の卒業生でした）以下、河南町富高卒業生の皆さん、学校からは大木前校長、他富高教職員数名、同窓会からは越井会長、竹本直一氏、石崎英男氏、岸本浩行氏、岡田貞夫氏等総勢50名を超える賑やかな一行が大阪側からと奈良側からとに別れ山に登りました。

まず混み過ぎた木を間伐し間伐材を使って展望台を作りました。最初はへっぴり腰で木を伐っていた野球部の諸君も馴れて来るに従い、中々堂に入った仕事ぶりでした。それから府から借りた“のこぎり”を使って枝打をしました。本来枝打は“なた”を使ってするものですが、枝打の時期が遅れているのか、枝が太くなり過ぎて“のこぎり”の方が適している様でした。無節の材に育てる枝打には程遠い仕

上りでしたが、繁り過ぎて日も通らなかつたうす暗い松林が、仕事が終わる頃にはよく日の通る明るい松林に生まれ変わっていました。ダイヤモンドトレール沿いには越井木材工業さんに用意して戴いた「富高同窓会林」の標識を数本立てました。あつと言う間に下山の時間になりましたが、全員で富高校歌を合唱しました。何より嬉しかったのは野球部の諸君の声が大きく響き渡り皆の顔が生き生きと楽しそうだったことです。

学校の勉強は卒業と同時に忘れてしまっても、このような体験は一生忘れることが無いものと思います。今年も是非現役の生徒諸君と一緒に山に登りたいと思います。

最後になりましたが、中々実現しなかつたこの学校行事の実現に協力して戴いた大木前校長に感謝申し上げます。



四季の日本料理と天然ラジュウム泉



ご宿泊・お食事承ります。

〒586-0062 大阪府河内長野市天見158

TEL 0721-68-8081

URL <http://www.e-oyu.com>

E-mail nantenen@e-oyu.com

山崎 友起子 (高30期)



丸長運送は皆様のビジネス応援団

バックヤード 支援システム

「コスト削減」「手間要らず」を実現
おまかせ下さい面倒なこと

保管・検品・梱包・在庫管理・全国配送

丸長運送株式会社

代表取締役 井戸 清明 (高23期)

〒586-0038 河内長野市上原西町6-20

(T)0721-52-2845 (F)0721-50-1078

<http://www.maruchounso.com>

「第3回富田林高校ももせ合唱団演奏会」のお知らせ

菊水郷の前号(臨時号)で当合唱団の第3回演奏会を10月30日(日)、午後2時より(開場:午後1時30分)、すばるホールに於いて開催することとなりましたことをお伝えいたしました。今般はその演奏内容についてお知らせいたします。

演奏内容は、下記のとおりですが、混声合唱は組曲「蔵王」を始め、イタリア民謡、日本歌曲、宮崎駿のアニメ、宮川泰氏(高1期)の懐かしのメロディー等を指揮・家島健氏(高5期)、ピアノ・京極輝子(高33期)・岡林純香(高40期)両氏によって演奏されます。

また、中納俊夫氏(高8期)のテノール独唱、京極輝子氏によるピアノ独奏、中納氏とソプラノの中島ゆかり氏(高32期)との二重唱等も組み入れられており、大変興味深く、楽しいものになると思っております。

今回の演奏会は、地元富田林市の「すばるホール」で開催するという、また、本年が富田林高校創立110周年という節目の年であるということで、団員一同張り切って練習に励んでいるところでありまして、当日は皆さんに大いに楽しんでいただきたいと思っております。

前回の演奏会と同様、多数の方々にご出席いただきますようお願いいたします。

富田林高校および同高同窓会の皆様、今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、当合唱団は、現在団員を募っており、原則として毎月第2、第4土曜日、2時～4時、富高同窓会館(旧)で練習を行っております。

見学も可能です。興味のある方はお気軽に連絡ください。
(演奏会の出席等に関すること・新規入団等のお問い合わせは、0721-25-2938 村元まで)

記

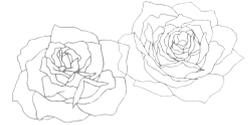
<プログラム>

(第1部)

- 混声合唱組曲「蔵王」
 - ・蔵王讃歌 ・投げよう林檎を ・苔の花 ・どっこ沼
 - ・おはなし ・雪娘 ・吹雪 ・樹氷林 ・早春
- 宮崎駿アニメメロディー
 - ・もののけ姫 ・君をのせて ・カントリーロード

(第2部)

- ピアノ独奏 ・バラード第1番ト短調Op23
- テノール独唱 ・子守唄
- 二重唱 ・インディアンラブコール ・ネコの二重唱
- イタリア民謡メドレー
 - ・サンタルチア ～ 帰れソレントへ ～ オーソレミオ
- 日本歌曲メドレー ・花 ～ 荒城の月 ～ 浜辺の歌
- 宮川 泰「懐かしのメロディー」より
 - ・愛のフィナーレ ・素晴らしい明日
 - ・嬉しい日曜日 ・風邪引きサンタのクリスマス



同窓生の紹介



熟年ライダー

高26期 黒原林明

私が富田林高校に入学したのは昭和45年で、戦後ベビーブームの先輩たちが安保反対を旗頭に学生運動が盛んだった時期を過ぎて、経済も急成長の真っ只中で学生生活ものんびりと安定している時期でした。

その頃は音楽ではフォークソング、ファッションでは石津謙介氏が創設したUSトラッドのVAN、ヨーロッパのJUN、モーターゼーションでは若者向けスポーツカーを各自動車メーカーが新モデルを競って開発し販売すれば飛ぶように売れる時代でした。

そんな時代背景の中で学業はそっちのけで、早くから自動車二輪車の運転免許を取得し部活が(柔道部)終われば、いち早くバイクにまたがる生活を送っていました。

私の所有していたバイクは、父が中古バイクを自分の好みで購入し私に与えてくれたホンダドリームCL250でした。今から思えば自分が乗りたかったのでしょう。

当時、富高ではバイク通学をするには許可制であったので生活指導の石香先生に申請し、何故か許可されて意気揚々と通学していました。

そんなバイク通学が許された学生たちの中に当時のバイクの王様ホンダCB750があったのです。(かなりお金持ちの子息だったのでしょう。)私は羨ましくてそのバ

イクを穴が空くほど観察したものです。

それから37年経った昨年、ホンダからノスタルジックCB1100が発売されたのです。

これで次のシナリオは想像できると思います。物の見事に食いついてしまったのです。あの時の憧れが、夢が、現実のものとなったのです。

現在は同期の松田君と(彼はハーレーダビットソン)ツーリングに出かけ学生時代に実現できなかった大型バイクに乗り第二の青春を満喫しております。

やっぱり今でも富高時代が最高に愉しかった青春の一ページです。



安井啓二氏 作品展

日時 平成23年9月22日(木)～29日(木)
午前9時～午後3時まで

(尚、学校行事の関係で会館時間の変更があります。富高同窓会係までご連絡下さい。)

場所 同窓会館

氏より 同窓会館オープン記念に、小生が50年近く描き続けた油絵作品の中から主に国内外の風景画を10点余り自薦し、展示させていただくことになりました。

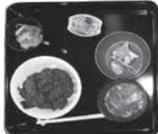


同窓会館に常設 旧校舍玄関

同窓生のお店紹介！



21期生 伊田彰成

奈良県
宇陀市大和牛丼の店
「件-kudan-」〒633-2161 宇陀市大宇陀上新1938-1
TEL 0745-83-2680

富田林から竹内峠を越えて奈良県へ。国道166号を東へ走って桜井市から女寄峠を抜けると、万葉の里、吉野葛の町として知られる、江戸期以来の風格ある町屋が軒をつらねる大宇陀に至ります（富田林から約1時間20分）。その旧街道ぞいの中心街（宇陀市大宇陀上新）に、昨年3月、地元でそだつ大和牛、米、野菜、醤油、葛などをじっくりと煮込んだ大和牛丼の店「件（くだん）-kudan-」を開いたのが、富高21期生の伊田彰成さんと奥さまの千代子さんです。



フリーライターで奈良市在住の伊田さんが雑誌の取材で大宇陀を訪れたのが2年前。ゆったりとしたまちのたたずまいと人々の暮らしぶりに惹かれた伊田夫妻は、高齢化、少子化で空き家のめだつ大宇陀のまちおこしに役立てれば、と、地元食材を使ったお店を開店。毎週木曜日から日曜日まで、奈良市内から通っています。

雑誌や新聞でも取り上げられ、関西ばかりか、名古屋や東京方面から「件-kudan-」を訪れるお客も少なくない、とか。

ぜひ、大和牛丼と、宇陀のまちをじっくり味わってみてください。

22期生 福谷 登

酒菜亭 丸福

〒586-0015 河内長野市本町12-15
TEL 0721-56-4291

河内長野駅から徒歩3分の居酒屋の店主22期生の福谷 登さん、学生のころは、ご実家が喫茶店『美和』として営業されていたものを、卒業後手伝うようになり、24歳で居酒屋『丸福』としてオープンされ、もうなんと37年！

リーズナブルなお値段で豊富なメニューは毎日通っても飽きないほど、地元ではとても人気のお店です。

お酒も多数品揃えされていて、飲む人も飲まない人も満足間違いなし。

又、丸福ラベルのオリジナル焼酎をはじめ、お酒の仕入れ先は、同じく22期生の奥野敏夫さん経営『ドラゴン河内長野店』なんだとか。長いご縁なんですね。

これからのおすすめはお鍋だそうで、季節に合わせたたくさんのメニューと、福谷さんの笑顔が、きっと皆さんをあたたかく迎えてくれると思います。

ランチタイムも営業中、なお水曜日はお休みですのでご注意ください。



24期生 中川義英・中川由利子

ナカガワ建築工房 &
café RECTAナカガワ建築工房
〒583-0881 羽曳野市島泉9-23-10
TEL 072-954-8236

1年生の時に同じクラスで、卒業後スキー場での偶然的な再会からご結婚され、現在羽曳野市在住、24期生の中川義英・由利子夫妻を紹介させていただきます。

高鷲駅から10分、大和高田線道路沿いにおしゃれな外観が目を引くお店が、ご主人の『ナカガワ建築工房』と奥さまの『café RECTA』です。

こちらの事務所に移転されて7年目、『家は完成してからが大切！完成＝誕生！そして成長していくのです！』と熱く語られる義英さん。お客様との長いお付き合いの場として、隣にカフェも作られたそうです。自然素材をふんだんに使ったカフェの店内は心地よく、由利子さんのこだわりのコーヒーとケーキは、癒しの味でした。

皆さんもぜひお立ち寄りになられてはいかがでしょうか。

お二人は、本校の同窓生とのつながりをずっと大切にしてくられ、このお店で、コンサート・寄席・BBQなどの企画をし、憩いと交流の場を提供されています。今回お話をさせていただき、お二人のあたたかい人柄に、たくさんの人が集まるのだと感じました。



このコーナーに掲載ご希望の方は、ご遠慮なく同窓会係までご連絡下さい。

平成23年度入試国公立大のべ合格者数

(1) 国立大

圏	大学名	現役	浪人	合計
近畿	京都大	1	0	1
	大阪大	2	2	4
	神戸大	3	5	8
	大阪教育大	8	7	15
	奈良教育大	2	1	3
	京都工芸繊維大	2	0	2
	奈良女子大	1	1	2
	和歌山大	4	1	5
北海道	北海道大	2	0	2
	北見工大	1	0	1
中部	信州大	0	1	1
	豊橋技術科学大	0	1	1
中国	岡山大	0	1	1
	広島大	1	1	2
	鳥取大	0	1	1
	山口大	1	0	1
四国	徳島大	1	1	2
	香川大	0	1	1
九州	福岡教育大	2	0	2
	国立合計	31	24	55

(2) 公立大

大学名	現役	浪人	合計
大阪市立大	12	2	14
大阪府立大	6	1	7
神戸市外大	1	0	1
兵庫県立大	3	2	5
奈良県立医科大	1	0	1
和歌山県立医科大	1	0	1
滋賀県立大	0	2	2
その他	3	2	5
公立合計	27	9	36

(3) 主な私立大

大学名	現役	浪人	合計
関西大	113	55	168
関西学院大	38	14	52
同志社大	40	22	62
立命館大	40	22	62
近畿大	68	58	126
龍谷大	2	9	11
武庫川女子大	36	2	38
京都女子大	10	0	10
同志社女子大	8	2	10
関西外大	9	0	9

今春卒業生の入試結果を報告します。国公立、主な私立大の合格者数は、例年並みでよく健闘したと思います。特に、京都大学（理学部）や大阪大学の法学部を現役で合格した例は近年なく、両名は本当によく頑張ってくれました。そして、私たち教職員はこうした力のある生徒がその力に応じた進路を実現できるよう、一丸となって講習等の指導をしています。どうか、同窓会の皆様のお子様を是非とも富田林高校へお任せいただきますようお願いいたします。

富高レポート

土曜セミナーとは、自習の場の提供です。その自習を学校で行う長所は二つあります。

一つは、質問に気軽に応じてくれ卒業生が講師としてのことです。

二つめは、真剣に勉強に取り組んでいる富高生を目の当たりにできることです。自分一人では、くじけそうになりがちな意欲を友人の姿を見て、一層頑張ることができます。

参加生徒は、「充実した時間を過ごせた」「講師の先輩の説明が良かった」とありました。また、大学へ進学した後、この土曜セミナーの講師として母校で後輩の指導をしたい生徒もいるようです。

今後とも、同窓会のご支援をお願いいたします。

編集後記

今回は前年に引き続いて同窓会館建設記事が主となりました。お蔭様で計画したとおりログハウスの同窓会館が完成し、各期の同窓会の活発化の一助になればと期待しています。同時に皆様からの声を本紙に寄せていただいて、より緊密な関係を築き、紙面の充実を図りたいと念じています。ご協力よろしくお願いいたします。

